



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス(2017.7.19)

＜今週のトピックス＞ 総選挙後、迷走する英国

7月17日 EUと英国は第2回目のEU離脱交渉を行われましたが、今回も、離脱の際の精算金等、両者の主張に大きな隔たりがあり、目立った進捗はありませんでした。特にEU側からは、英国の離脱交渉に対する準備不足に驚き、危機感を持っているといった報道もあるとおり、離脱方針が固まらない英国政権の迷走を印象付けました。

(1) 英国総選挙

- 英国側の混乱の原因は、6月8日に行われた英国下院の総選挙によるものです。当時、与党保守党は単独過半数を超えとなる330議席を確保していましたが、EU離脱交渉を控え、更に強固な政権を目指し、保守党のメイ首相自ら、解散し総選挙を行うこととしました。当時は、最大野党である労働党の支持率が、大きく下回っていたため、誰もが保守党の大勝を予想していました。しかし、結果は、保守党は議席を330から318に減らし、単独過半数を割り込む事態となりました。

■英国総選挙 主要政党の獲得議席数と増減

| | 議席数 | | |
|-------------------|-----|-----|-----|
| | 選挙前 | 選挙後 | 増減 |
| 保守党 | 330 | 318 | ▲12 |
| 労働党 | 232 | 262 | +30 |
| スコットランド国民党(SNP) | 56 | 35 | ▲21 |
| 自民党 | 8 | 12 | +4 |
| 北アイルランド民主統一党(DUP) | 8 | 10 | +2 |
| その他 | 16 | 13 | ▲3 |
| 合計 | 650 | 650 | |

※過半数 326

- 単独過半数割れした保守党は、DUPと閣外協力することとなり、過半数を確保することとしましたが、選挙の予想外の結果に、メイ首相の求心力が急速に低下することとなりました。
- 保守党敗北の要因は、マニフェストでの福祉政策が不評であったことや、連続したテロにより、警察官を減らしてきた保守党の緊縮政策への反感等、様々に言われています。現地では選挙期間中の恒例の各党首によるTV討論会への出演をメイ首相が拒んだり、重要な政策をメイ首相に近い政権の一部で決定するような姿勢、経済界との対話の不足等、メイ首相や保守党に慢心があったとも言われています。いずれにしろ、

やる必要のなかった総選挙を自ら行い、その賭けに失敗したメイ首相の痛恨のオウンゴールになってしまいました。

(2) 結束する独仏

- 一方、EU は昨年から、今年前半までは、英国の EU 離脱や、米国のトランプ大統領の影響もあり、ポピュリスト、極右政党の躍進等で大きく揺らいでいましたが、フランス大統領戦で、マクロン首相が大勝したことをきっかけに、ドイツのメルケル首相とともに、急速に独仏が結束していきました。
- また EU の経済も好調で、これまで日本同様、中央銀行の ECB はマイナス金利政策をとり、デフレ脱却を目指していましたが、いよいよその出口を模索し始めています。
- 更には混迷する英国、米国を尻目に、EU と日本で EPA の大枠合意と着実に EU 独自の成長を進めています。

(3) 英国の EU 離脱交渉

- 結束を深めようとする EU に対し、英国では与党保守党内での権力闘争にも発展しかねないような状況で、とても離脱案をまとめあげられる状況ではありません。
- これまで EU 離脱に対して、メイ首相は移民を制限し、EU の単一市場や関税同盟からの撤退をするハードブレクジットを志向していました。そのため、英国の企業と雇用を最優先して、緩やかな移行期間を設定し、経済への影響を最小限にしようとするハモンド財務相はメイ政権内では、冷遇されていました。しかし、今回の総選挙の結果により、ハモンド財務相への支持が高まっています。

この英国の不透明感から、特に金融機関を中心に、EU 内に拠点を新設する動きが出ています。今はまだ、機能の一部を EU に移し、最低限 EU 内で業務が継続できるようなレベルの移転ですが、この状況が続くようであれば、更なる移転が起こることは避けられなくなります。今は政権内で内部抗争をしている場合ではなく、早く確実に現実的な離脱案が示されることが期待されます。

| | 7/12 | 7/13 | 7/14 | 7/17 | 7/18 |
|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| FTSE 100(英) | 7416.93 | 7413.44 | 7378.39 | 7404.13 | 7390.22 |
| CAC 40(仏) | 5140.60 | 5222.13 | 5235.40 | 5235.31 | 5230.17 |
| XETRADAX(独) | 12636.58 | 12641.33 | 12631.72 | 12587.16 | 12430.39 |
| OMX20(デンマーク) | 1003.59 | 1001.88 | 1007.08 | 1012.48 | 1008.05 |
| BUX(ハンガリー) | 2818.62 | 2719.86 | 2710.96 | 2795.62 | 2812.90 |
| RTS(ロシア) | 1025.89 | 1029.89 | 1044.27 | 1039.34 | 1038.45 |

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。